



きいんぐみだより H30・3月

社会福祉法人尚徳福祉会 生麦保育園

少しずつ風が暖かく感じられ春もすぐそばまできているように感じます。自然界は春の準備が整ってきました。きりん組も、進級の準備が着々と整いつつあります。子どもたちの言葉の中にも、自分たちがぞう組になるんだという自覚が感じられます。友だち同士喧嘩をしてもすぐに「ごめんね」の言葉が言えるようになったり、お手伝いを率先して行ったり、一人一人の成長が感じられます。1か月きりん組での時間を楽しく過ごしていこうと思います。



生麦温泉



2月16日ににこにこまん活動のひとつとしてお店屋さんごっこを行いました。子どもたちに休日の過ごし方を聞くと「ふれ〜ゆ」に行くと言う子が多かったので、今年のテーマは「温泉ランド」にしました。幼児組で温泉にはどんなものがあるか聞くと「お風呂に富士山がある」「食べるところ」「ゲームができる」などなど話が盛り上がりました。にこにこまん活動で、生麦温泉で売る食べ物や遊ぶおもちゃを作りました。ぞう組が字を書き、他のクラスは、色を塗ったり共同で看板やポスターも作りました。当日、お風呂担当は乳児組さんにマッサージをしてあげたり、ゲームや食べ物屋さんには優しくわかり易いように話しかけていました。自分たちも楽しみましたが、お客さんに来てくれた乳児さんもとても喜んでくれて大成功でした。お客さんになったりお店屋さんになったりと楽しい時間を過ごしました。

先日は、懇談会にご参加いただきありがとうございます。保護者の皆様と子どもたちの成長を喜び合うことができ、有意義な時間を過ごせました。



節分・恵方巻き



節分の数日前から子どもたちは鬼の話で盛り上がっていました。怖いような怖くないような・・・「うさぎ組の時は泣いたけどもう泣かないよ」など頼もしい声も聞かれました。カーテンに鬼の影が映ると、次第に部屋の隅へ・・・窓から青鬼が入ってくると新聞紙の豆を投げるのも忘れ、泣き出す子もいました。その中でも果敢に戦う子もいて無事オニ退治する事ができました。次に恵方巻き作りに挑戦。グループを2つに分け気持ちを一つに合わせ「せーの！」と長いのり巻きをぐるりと巻いて恵方巻きの完成。切り口を見ると「わ〜！」と歓声が上がっていました。その後皆で南南東を向き、願いを込め美味しくいただきました。

この1年間で、成長した子どもたち。心身ともにぐんと伸び、運動会、お楽しみ会、お店屋さんごっこ等の大きな行事に意欲的に、取り組めました。にこにこまん活動を経験して4月とは違う、たくましい子どもたちの姿が見られるようになりました。保護者の皆様には、いろいろとご協力していただきありがとうございました。

